

なごや市会だより

広報

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和3年(2021年)2月 第174号

11月定例会特集号

11月定例会は、11月20日から12月9日までの20日間にわたって開かれ、新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算や、条例案、人事案件など市長提出案件20件、議員提出議案5件についての審議などを行いました。

名古屋市会

Q 検索



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

11月定例会の日程

開 会	11/20 本会議	11/25~26 常任委員会	11/27~12/1 本会議	12/2~8 常任委員会	12/9 本会議	閉 会
	市長提出案件について 市長より提案説明 個人質疑(→詳細は、2面)	市長提出案件について 審 査	市長提出案件について 議決(→詳細は、4面) 個人質問(→詳細は、2・3面)	市長提出案件について 審 査	市長提出案件などについて 議 決 (→詳細は、1・4面)	

新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算を可決

■新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算5件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。
主な内容は以下のとおりです。(1万円未満は四捨五入しています。)

新型コロナウイルス感染症対応

医療・福祉

住居確保給付金の支給

……………3億7,624万円
申請件数の増加により、離職された方などに対して一定期間家賃相当額を給付する住居確保給付金を増額

地域医療体制の強化……………2億円

平日夜間・休日の感染症患者の受け入れ体制の整備と救急搬送受け入れ医療機関などへの補助

保健センターの疫学調査・健康観察体制の強化……………1億9,838万円

保健センターの疫学調査・自宅療養者等の健康観察体制の強化のため、看護師などを配置

通所系介護サービス等継続支援事業……………1億1,163万円

補助事業所数の増加により、通所系介護サービス等継続支援の事業費を増額

感染症患者移送体制の強化……………4,012万円

感染症患者の医療機関への移送について、民間の患者等搬送事業者を活用

●東部医療センターの診療備品の購入……………6,700万円



教 育

学校における対策の強化等……………6億350万円

衛生用品の購入など、新型コロナ対策に係る経費の増額

●特別支援学校スクールパスの増車期間延長……………4,222万円



その他

市独自の臨時特別定額給付金の支給……………1億8,160万円

世帯全員が亡くなり、国の給付金を受給できなかった方一人あたり10万円を、市独自に遺族の代表者に支給

オアシス21のトイレ等環境改善……………8,000万円

新型コロナに対応したトイレ整備・エントランス改修など

- 市長選挙投票所等の衛生用品の購入……………1,047万円
- 公開空地等活用助成……………500万円



経 済

中小企業の新しい生活様式・働き方対応支援……………66億4,448万円

申請件数の増加により、中小企業への新しい生活様式・働き方に対応した設備などの導入補助を増額



その他

- 鳴海駅前市街地再開発事業……………2,081万円
- 事業期間終了に伴う事業費の減額……………△20億4,600万円

浅井康正理事(減税日本ナゴヤ)に対する問責決議案を賛成多数で可決

○11月11日に議会運営委員会理事に就任した減税日本ナゴヤ所属の浅井康正議員が、円滑な議会運営を著しく損なう発言を繰り返し、名古屋市会全体を混乱に陥れたことに関し、その責任を問うものです。

浅井康正理事に対する問責決議(概要)

浅井康正議員は、議会運営委員会理事という責任ある立場にありながら、議会運営委員会及び同理事会において、7月3日の総務環境委員会で質疑が終了した議案を再度取り扱う事態を引き起こしたことについて、9月定例会で浅井康正議員を含む減税日本ナゴヤ所属の議案提案者11名の連名により、委員会運営に混乱を生じさせたことをお詫びする謝罪文を提出したにもかかわらず、総務環境委員会における混乱は減税日本ナゴヤからの申し出によるものではない旨の発言をするなど、これまで各所で協議、確認してきた内容をことごとく否定する発言を繰り返しました。

このほかにも、円滑な議会運営を著しく損なう発言を行い、名古屋市会全体を混乱に陥れたことから、長期にわたる議会の混乱を解消し、一刻も早い正常化を図るため、浅井康正理事に対し、猛省を促すとともに、その責任を強く問うものです。

※決議の全文は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。

→本件については、採決に先立ち、浅井康正議員から一身上の弁明、減税日本ナゴヤから反対討論が行われました。

一身上の弁明

議会運営委員会理事として、私なりに真摯に務めてきた。私が議会運営委員会で主張したのは、議会運営正常化のためと思い、やむを得ず飲み込んだ真実を明らかにすべきと考えたからである。

反対討論

確認してきた内容をことごとく否定する発言とあるが、これは質問に答える形で新たな事柄を補足して説明したのであって、当該議案は議員の言論を制限しなく、浅井康正理事の名誉を傷つけるものである。

○この問責決議案を可決した12月9日の本会議終了後、浅井康正議員から議会運営委員会理事の辞任願が提出されました。

個人質疑から

11月20日の本会議では「職員の給与に関する条例の一部改正」について個人質疑を行い、市長はじめ市当局の考えをたえました。
主な質問・答弁の概要は次のとおりです。

田口一登議員（共産）

職員の給与に関する条例の一部改正

質問 人事委員会による職員給与の引き下げ勧告を受けて市長が発言した「はっきりした」というコメントは、コロナ対策で市民の命と暮らしを守るために奮闘している職員の意欲を削ぐ言葉であるため、撤回するべきでは。

答弁 保健センターの職員には感謝しており、感謝状も贈呈した。しかし、民間の商売の苦労は大変なものがあり、公務員がこれだけの給料をもらうのは当たり前でないということが、かえって民間の安心感をつくと思うので、撤回するつもりはない。（河村市長）

本会議での質問などや委員会での議論の様子は、名古屋市ウェブサイト（市会情報）からパソコンやスマートフォンなどで録画中継を視聴できます。
ぜひご視聴ください。

 ▲中継はこちら

 パソコン

 スマートフォン

 タブレット端末

個人質問から

11月27日から12月1日の本会議では、24人の議員が市政全般に対する個人質問を行い、市長はじめ市当局の考えをたえました。
主な質問・答弁の概要は次のとおりです。（発言順に記載しております。）



◀◀◀◀◀◀11月27日(金曜日)▶▶▶▶▶▶▶▶

日比美咲 議員(民主)

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

質問 市民の利便性向上や新型コロナ感染回避のため、行政手続きのオンライン化を進め、さらにデジタル技術で新たな変革を起こすDXの推進のため、ICTを活用した市民サービス向上を推進できる人材を確保するべきでは。

答弁 自宅から申請手続きが行える電子申請システムについては、来年度中の導入に向け、各局と連携して取り組んでいきたい。また、行政のデジタル化を推進できる人材を採用するための方策について、令和4年4月の採用に向けて早急に検討していく。(総務局長)

増田成美 議員(減税)

不育症への支援

質問 妊娠はするものの、流産が2回以上続くことなどによって子が得られない不育症は、不妊症に比べて認知度が低いばかりでなく、本市では助成制度もないため、不育症の方の負担を少しでも軽減できるよう、他都市のように経済的支援を実施するべきでは。

答弁 すでに130以上の自治体で支援が行われており、命が生まれてくるところを応援するのは当たり前のことであるので、来年度からでも実施できるように指示したところである。(河村市長)

田辺雄一 議員(公明)

本市の公共交通における新型コロナ感染防止対策

質問 公共交通機関での新型コロナ感染を防ぐとともに、利用者の不安を払拭するため、市バス・地下鉄となごや観光ルートバス「メーグル」の手すりやつり革などの車内設備に、抗ウイルス・抗菌処理加工を行う考えは。

答弁 市バス・地下鉄への抗ウイルス・抗菌処理加工については、交通局が所有する全車両への来年度実施に向けて検討するとともに、所要額の確保に努めていく。メーグルへの抗ウイルス・抗菌処理加工については、速やかに実施していきたい。(交通局長、観光文化交流局長)



市バス・地下鉄(左)となごや観光ルートバス「メーグル」(右)

岡田ゆき子 議員(共産)

名古屋市立東部・西部医療センターの市立大学病院化

質問 新型コロナ対応に最大限集中するべき時に、なぜ性急に令和3年4月の市大病院化を進めるのか。また、住民の医療需要に応える市立病院の役割は、専門的医療に特化する市大病院と違うが、統合後も堅持されるのか。

答弁 市大病院化は医療情勢に対応するため速やかに行うことが市民の利益に合うと考えており、3つの病院がさらに連携し、新型コロナなどの感染症対応に取り組んでいきたい。また、市大病院化後も、それぞれの役割は維持されると認識している。(伊東副市長、総務局長)

◀◀◀◀◀◀11月30日(月曜日)▶▶▶▶▶▶▶▶

江上博之 議員(共産)

新型コロナ感染拡大防止のための検査・保護・追跡調査

質問 感染拡大を防止するため、保健所の下に感染追跡専門の組織を設けることや人員を確保することで感染追跡を充実させるとともに、栄繁華街で無症状の方を含む関係者全員に面的なPCR検査を行うべきでは。

答弁 感染追跡については、区の実情に即して行うため、引き続き各保健センターで行い、体制の強化を検討していく。面的なPCR検査については、検査体制の構築が課題であるため、必要に応じてPCR検査などを受けることができる体制の構築に努めていく。(健康福祉局長)

斉藤たかお 議員(自民)

敬老バスの民間路線バスへの対象交通拡大

質問 高齢者がより移動しやすくなることにつながる敬老バスの民間路線バスへの拡大時期については、利用者のわかりやすさという点から、名鉄・近鉄・JR東海の鉄道への適用ルートに合わせ、令和4年2月としては。

答弁 名鉄バスと三重交通バスへの敬老バスの対象交通拡大の時期については、市民にとってのわかりやすさ、広報のしやすさといった点で適していると考えため、令和4年2月を目標として、しっかりと取り組んでいきたい。(健康福祉局長)

うかい春美 議員(民主)

ICT環境整備後の学習支援体制づくり

質問 小中学校での1人1台のタブレット端末の配備に向け、すべての教員が端末を有効活用した指導ができ、端末の機械トラブル時などに支援を受けられるよう、ICT支援員を国が示す4校に1校程度配置する考えは。

答弁 機械トラブルなどで子どもたちの学びが途切れることがないように、支援体制をしっかりと整える必要があるため、先行導入校でのICT支援員の活用状況も踏まえながら、国が目標として示す水準に向けた増員について検討していきたい。(教育長)

豊田 薫 議員(減税)

樹齢400年以上のツブラジの今後

質問 江戸時代から名古屋を見守り続けてきた久屋大通庭園フラリエにあるツブラジを長く保全し、後世に伝えていくため、生育環境の良い場所への移植も含めた環境整備を行うとともに、歴史的資源として市民に広く広報・周知していく考えは。

答弁 ツブラジの語り継がれてきた歴史について、広く周知に努めるとともに、保全に当たっては、専門家の意見を伺いながら、適切な維持管理に努め、必要に応じて移植についても検討していきたい。(緑政土木局長)



久屋大通庭園フラリエ内のツブラジ

さかい大輔 議員(公明)

ヤングケアラー(若年介護者)への対応

質問 表面化しづらいヤングケアラーを発見し、支援につなげていくための学校としての対応は。また、ヤングケアラーが抱える負担を軽減するため、迅速かつ確に福祉的な支援につなげていくことへの考えは。

答弁 学校では児童生徒の健やかな成長を見守っており、ヤングケアラーを発見した場合は子ども応援委員会とともに学校でできる支援を実施していく。また、学業や友人との時間を増やせるよう、必要な方に福祉サービスが届くようにしていきたい。(教育長、健康福祉局長)

中田ちづこ 議員(自民)

堀留水処理センター周辺地域の環境改善と魅力向上

質問 堀留水処理センター周辺地域の悪臭解消のため、さらなる環境改善に取り組むべきでは。また、上部空間の活用検討や、栄地区の再整備が進む中、将来的な堀留水処理センターの廃止についての検討が必要では。

答弁 新堀川上流部のさらなる水質浄化策として、来年度に雨水幹線などの設計に着手し、効果的な対策となるよう積極的に進めていきたい。また、堀留水処理センターについては、都心部のまちづくりと連携したあり方として、廃止も含め検討していきたい。(上下水道局長)

うえぞの晋介 議員(民主)

市民の防災意識を高める取り組み

質問 震災をリアルに感じてもらい、市民の防災意識を高められるよう、今年度中に東日本大震災の教訓を伝える取り組みをより多く行うほか、港防災センターで東日本大震災津波伝承館と連携した取り組みを行っては。

答弁 東日本大震災から10年を迎えるに当たり、各区役所での巡回パネル展示など、震災の教訓を伝えるさらなる取り組みを早急に実施していきたい。また、津波伝承館と連携した取り組みについても、新たな啓発の実現に向けて調整していきたい。(防災危機管理局長)

中川あつし 議員(減税)

災害時におけるペット対策

質問 災害時におけるペットとの同行避難について、市民にどの程度周知されているのか。また、避難所運営マニュアルにおけるペットとの同行避難への対応についても、市民に分かりやすく周知・啓発していく考えは。

答弁 市民の認知度は、平成30年度のアンケートで45.3%であった。地域住民や施設管理者など住民同士の理解が促進されるよう、各種防災訓練などで避難所運営マニュアルの内容を記載したガイドラインやリーフレットを用いた周知・啓発を続けていく。(健康福祉局長)

◀◀◀◀◀◀12月1日(火曜日)▶▶▶▶▶▶▶▶

さわだ晃一 議員(公明)

介護用紙おむつに関するケア体制の整備

質問 介護する家族の排せつケアに対する負担感を軽減させ、おむつが必要な方が一人ひとりの状況に合った選び方のアドバイスを受けられるよう、介護用紙おむつに関する本市独自の継続的なケア体制の整備が必要では。

答弁 高齢者排せつケアコールセンターでは継続した支援が困難なため、おむつが必要な方が適切におむつを選択できるような仕組みについて、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の計画期間の中で、検討を進めていきたい。(健康福祉局長)

服部しんのすけ 議員(自民)

新型コロナに係る年末年始の医療提供体制

質問 年末年始は多くのかかりつけ医が休診となり、PCR検査を受けることができる病院は限られてくることから、年末年始に限って、市の施設を活用した臨時のPCR検査所を設置しては。

答弁 多くの医療機関が休みとなる年末年始において、PCR検査を受けることができる体制を確保することは非常に重要な課題であると認識しており、市の施設の活用も含め、臨時のPCR検査所の設置に向けて早急に検討を進めていきたい。(健康福祉局長)

森ともお 議員(民主)

回遊性の向上を目指したシェアサイクルの活用

質問 熱田神宮などの観光名所がある熱田地区へのシェアサイクルの導入支援として、令和3年2月に旧ポストン美術館で開催されるバンクシー展に合わせ、金山総合駅にシェアサイクルの公共ステーションを開設しては。

答弁 熱田地区は、本市の支援により、シェアサイクルのさらなる普及が見込める場所と捉えているため、交通の要所である金山総合駅に、利便性の高い公共ステーションをバンクシー展の開催などに合わせて設置できるよう、準備を進めていきたい。(緑政土木局長)



市役所駅の公共ステーション

沢田ひとみ 議員(減税)

コロナ禍におけるなごや妊娠SOSの拡充

質問 国の支援事業を活用し、なごや妊娠SOSをさらに拡充させ、産婦人科への同行や受診費用を助成する仕組みづくりについて、妊娠相談に詳しいNPO法人などに委託することも含め、調査するべきでは。

答弁 緊急対応が必要な方は、なごや妊娠SOSでの相談の中で速やかに区の保健センターにつなげ、同行支援を含め確実に必要な支援を行っているが、NPO法人などへの委託や受診費用の助成については、直ちに課題やニーズなどを調査していきたい。(子ども青少年局長)

西川ひさし議員(自民)

名古屋ゆかりの近代文学作家に係る取り組み

質問 江戸川乱歩を見出した天才郷土作家の小酒井不木を知ってもらうため、居宅跡地に近い鶴舞中央図書館で不木の常設展示をしては。また、名古屋ゆかりの近代文学作家の情報を発信するため、近代文学館を整備しては。

答弁 鶴舞中央図書館の情報コーナーを拡張し、市民がいつ来館しても不木と乱歩について知ってもらえるよう紹介していく。また、近代文学館の整備については、実際に他都市の近代文学館に赴くなど、しっかりと情報収集に努めていきたい。(教育長、観光文化交流局長)

河本ゆうこ 議員(減税)

公立保育所リフレッシュ預かり保育事業の申し込み方法

質問 電話による先着順というリフレッシュ預かり保育の現在の申し込み方法は、申し込みがしにくいことから、オンラインによる抽選など、子育てをしている保護者にとってより使いやすくなる工夫をするべきでは。

答弁 電話による申し込み方法では、電話が集中してつながらなかったり、つながった時にはすでに定員に達してしまっているという状況があるため、オンライン申し込みによる抽選など、利用を希望する方が申し込みしやすい方法を検討していきたい。(子ども青少年局長)

横井利明 議員(自民)

GIGAスクール構想による1人1台端末への対応

質問 小中学生用タブレット端末の配備は、国が求める年度内配備に向けて努力するべきでは。また、配備遅れの主因であるセンターサーバー方式は、端末の操作ログ取得による児童生徒の常時監視などにつながるのでは。

答弁 現在は令和3年6月末までに全端末が納品される予定だが、契約業者と年度内から納入を始められないか協議していきたい。また、操作ログは慎重に取り扱い、ネットワーク環境は、クラウドの利点も認識し次の更新に向けて検討を進めていく。(教育長)



先行導入校におけるタブレットを用いた授業の様子

11月定例会 提出案件の賛否

市長提出案件

■以下の16件については、いずれも全会一致により原案どおり可決(※1については異議なき旨の答申議決)しました。

- 名古屋市議会議員選挙公報発行条例及び名古屋市長選挙公報発行条例の一部改正
- 敬老パス条例の一部改正
- 国民健康保険条例の一部改正
- 名古屋国際会議場整備運営事業者選定審議会条例の制定
- 令和2年度名古屋市一般会計補正予算(第10号)など5件(→詳細は、1面)
- 契約の締結(4件) ●財産の取得 ●当せん金付証券の発売
- 人権擁護委員の推薦※1

■以下の4件については、いずれも賛成多数により原案どおり可決(※2については同意)しました。

- 職員の給与に関する条例の一部改正
人事委員会勧告を踏まえ、国の職員給与との均衡等を考慮して職員給与の改定などを行うものです。
 - 愛知県公安委員会の委員推せん※2
任期満了となる本市推せん委員を、引き続き同委員に推せんするものです。
 - 病院事業の設置等に関する条例の一部改正 ●公立大学法人名古屋市立大学定款の変更
上記の2議案は、市立東部・西部医療センターの市大病院化に伴い、両センターを廃止するための規定の整備や市立大学定款の一部を変更するものです。
- 「病院事業の設置等に関する条例の一部改正」については、採決に先立ち、日本共産党から反対討論(理由:新型コロナ拡大で市立病院もひっ迫する中、性急に進めている。市大病院化で現在の市立病院の役割が維持される保証があるとは言えない。市立病院をすべてなくす重大な組織改編の全容を市民に知らせないまま進めている。)が行われました。

議員提出議案

■以下の4件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。

意見書

- 地球温暖化対策の推進を求める意見書
温室効果ガス排出実質ゼロに向けて、地球温暖化対策をより一層推進するよう強く要望するものです。
- 不妊治療への保険適用の拡大等を求める意見書
現在助成対象となっていない人工授精をはじめ、特定不妊治療である体外受精や顕微授精、さらには男性に対する治療についても保険適用の対象となるよう検討することなどを強く要望するものです。
- 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書
住居確保給付金について、受給者に関する状況等実態調査を速やかに実施するとともに、支給期間の延長、支給上限額の近傍同種住宅の家賃水準への引上げ、収入要件を公営住宅入居収入基準と同水準にすることなど、より使いやすい制度に見直すことなどを強く要望するものです。

※意見書の全文は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。

その他

- 地域環境審議会委員の推薦



11月定例会開会中に行った所管事務調査

11月定例会では議案の審査のほかに、各常任委員会において以下の事項について所管事務調査を行いました。

総務環境委員会

- 南陽工場設備更新事業の進捗状況及び山田工場の解体工事について調査

財政福祉委員会

- 市民税減税について調査

教育子ども委員会

- 本市図書館における指定管理者制度実施に関する考え方について調査
- 科学館B6型蒸気機関車について調査

土木交通委員会

- 弥富相生山線について調査

経済水道委員会

- 特別史跡名古屋城跡西之丸き損地点の調査と修復について調査
- 名勝名古屋城二之丸庭園整備計画(案)について調査
- 名古屋城天守閣整備事業に係る進捗状況について調査

都市消防委員会

- 名古屋駅周辺地下公共空間整備について調査
- 消防団詰所及び消防団車両の整備について調査

※委員会での議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)にて録画中継を視聴できます。

■賛成多数により可決または同意した各案件について、賛否と結果は下記の表のとおりです。

表の①は、次の2件です。(11月27日議決)

- 職員の給与に関する条例の一部改正
- 愛知県公安委員会の委員推せん

表の②は、次の2件です。(12月9日議決)

- 病院事業の設置等に関する条例の一部改正
- 公立大学法人名古屋市立大学定款の変更

表の③は、次の1件です。(12月9日議決)

- 浅井康正理事に対する問責決議案

会派	氏名(区)	議決結果		
		① 可決または同意	② 可決	③ 可決
自民	伊神邦彦議員(千種区)	○	○	○
	中川貴元議員(東区)	○	○	○
	渡辺義郎議員(北区)	欠	○	○
	浅野有議員(西区)	○	○	○
	斉藤たかお議員(中村区)	○	○	○
	小出昭司議員(中村区)	○	○	○
	中田ちづこ議員(中区)	○	○	○
	西川ひさし議員(昭和区)	○	○	○
	ふじた和秀議員(瑞穂区)	○	○	○
	服部しんのすけ議員(熱田区)	○	○	○
	岡本善博議員(中川区)	○	○	○
	浅井正仁議員(中川区)	○	○	○
	吉田茂議員(港区)	○	○	○
	横井利明議員(南区)	○	○	○
	藤沢ただまさ議員(南区)	○	○	○
	松井よしのり議員(守山区)	○	○	○
	北野よしはる議員(守山区)	○	○	○
	中里高之議員(緑区)	議長	議長	議長
	岩本たかひろ議員(緑区)	○	○	○
	丹羽ひろし議員(名東区)	○	○	○
民主	成田たかゆき議員(天白区)	○	○	○
	斎藤まこと議員(千種区)	○	○	○
	山田昌弘議員(千種区)	○	○	○
	服部将也議員(北区)	○	○	○
	うえぞの晋介議員(西区)	○	○	○
	うかい春美議員(中村区)	○	○	○
	塚本つよし議員(中区)	○	○	○
	おくむら文悟議員(昭和区)	○	○	○
	久田邦博議員(瑞穂区)	○	○	○
	森ともお議員(熱田区)	○	○	○
	久野美穂議員(中川区)	○	○	○
	赤松てつじ議員(中川区)	○	○	○
	加藤一登議員(港区)	○	○	○
	橋本ひろき議員(南区)	○	○	○
	小川としゆき議員(守山区)	○	○	○
	岡本やすひろ議員(緑区)	○	○	○
減税	日比美咲議員(名東区)	○	○	○
	田中里佳議員(天白区)	○	○	○
	手塚将之議員(千種区)	○	○	×
	佐藤ゆうこ議員(東区)	○	○	×
	田山宏之議員(北区)	○	○	×
	鹿島としあき議員(西区)	○	○	×
	豊田薫議員(中区)	○	○	×
	大村光子議員(昭和区)	○	○	×
	中川あつし議員(中川区)	○	○	×
	沢田ひとみ議員(港区)	○	○	×
	河本ゆうこ議員(守山区)	○	○	×
	増田成美議員(緑区)	○	○	×
公明	余語さやか議員(緑区)	○	欠	欠
	浅井康正議員(名東区)	○	○	※
	鈴木孝之議員(天白区)	○	○	×
	田辺雄一議員(千種区)	○	○	○
	長谷川由美子議員(北区)	○	○	○
	さわだ晃一議員(西区)	○	○	○
	中村満議員(中村区)	○	○	○
	木下優議員(中川区)	○	○	○
	吉岡正修議員(港区)	○	○	○
	さかい大輔議員(南区)	○	○	○
	金庭宜雄議員(守山区)	○	○	○
	近藤和博議員(緑区)	○	○	○
共産	小林祥子議員(名東区)	○	○	○
	三輪芳裕議員(天白区)	○	○	○
	岡田ゆき子議員(北区)	×	×	○
	江上博之議員(中川区)	×	×	○
	さはしあこ議員(緑区)	欠	×	○
無会	さいとう愛子議員(名東区)	×	×	○
	田口一登議員(天白区)	×	×	○
前田えみ子議員(瑞穂区)		○	○	×

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長のため議決に参加できない
※…自己の一人に関する事件のため議決に参加できない

※名古屋市会では、平成23年度から、市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をしていますが、残念ながら、河村市長から『回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある』として、毎月発行化は認められませんでしたので、令和2年度は年7回の発行となりました。